

提出日：2017年 12月 20日

クルーズサマリー

1. 航海情報

- 航海番号 KS-17-J09C
- 船舶名 新青丸
- 航海名称 東北津波域における海洋生態系変動メカニズムの解明
- 首席研究者 土田真二[海洋研究開発機構]
- 課題代表研究者 土田真二[海洋研究開発機構]
- 研究課題名 東北津波域における海洋生態系変動メカニズムの解明
- 航海期間 2017 7.8-26
- 出港地～寄港地～帰港地 機構棧橋～石巻港～機構棧橋
- 調査海域名 三陸沖

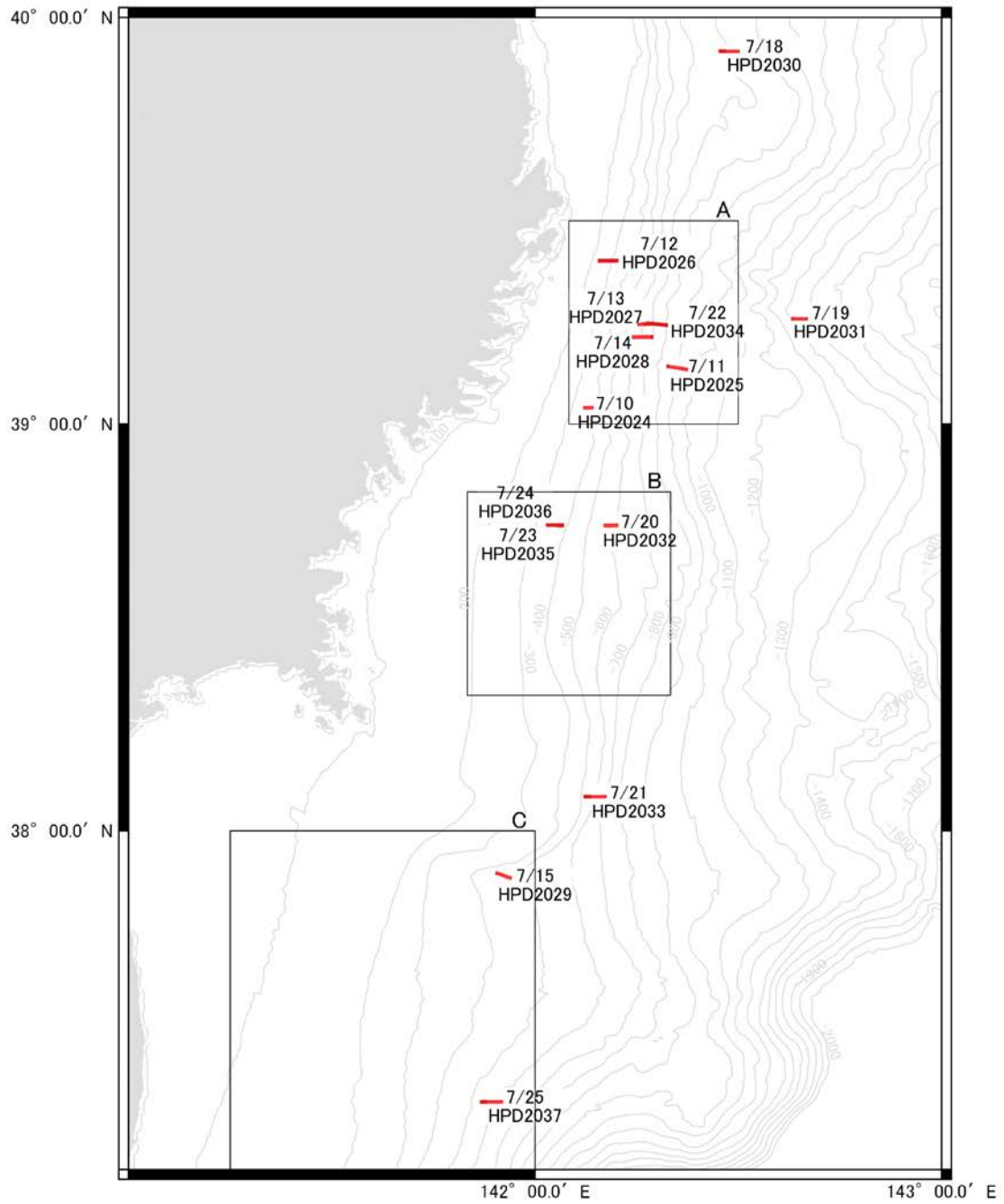


図 調査エリアの海底地形図とハイパードルフィン潜航調査測線.

2. 実施内容

● 調査概要

・音響による地形調査

福島沖、宮城沖、岩手沖においてSEABATによる海底地形調査を行った。

・XCTD、ADCPによる海洋環境情報の取得。

・海底観察下向きカメラによる定性・定量的計測

ハイパードルフィンのメインカメラおよびビークル後部に取り付けた海底観察下向きカメラにより、映像・画像の取得を行い、生物および瓦礫の定量的データを取得した。とくに、岩手県釜石沖の海底谷の内外で生物相を比較した。また、釜石沖の海底谷内で、瓦礫の塊を多く視認した。

・生態系モデルを構築するためのパラメタの抽出用試料のサンプリング

Ecopathモデルのfunctional groupの候補種として、胃内容物分析などを行うためのクモヒトデ類やダーリアイソギンチャク類等の底生生物を採集した。

○ プロジェクトの名称

東日本海洋生態系変動解析プロジェクト

(東北マリンサイエンス拠点形成事業「海洋生態系の調査研究」)